

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和6年10月16日（水）

### 2 確認箇所

既設多核種除去設備（図1）

### 3 確認項目

既設多核種除去設備の現況

### 4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では「増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染(令和5年10月)」や「高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい(令和6年2月)」など、汚染水処理設備に関するトラブルが連続して発生している。(前回確認：[令和6年10月15日](#))

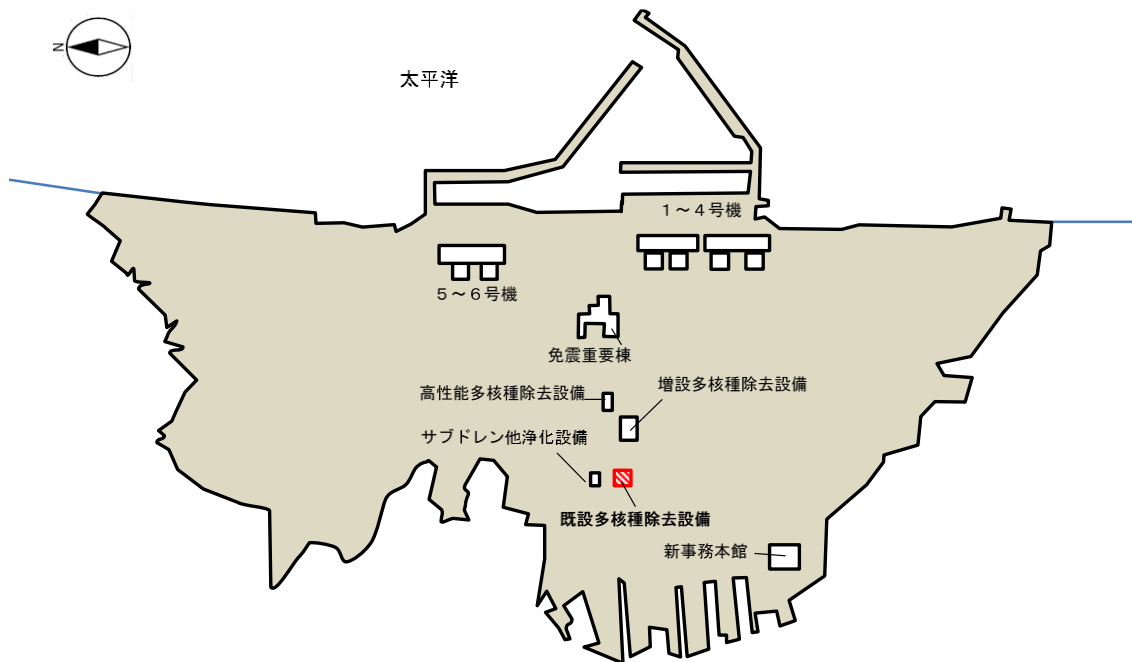
そのため、汚染水処理設備の運転状況や設備機器のメンテナンス状況を適宜確認している。本日は、既設多核種除去設備（以下「既設ALPS」という。）を確認した。

なお、確認時における既設ALPSの運転状態は次のとおりであった。

A系：停止中 B系：停止中 C系：停止中

- ・ 現場確認時に、薬液を使ったクロスフローフィルター\*の洗浄作業が行われていた。(写真1)
- ・ 洗浄作業に伴う弁の操作時は、弁番号等が記載されたチェックシートを用いて、操作対象の弁を確認していた。また、操作指示の復唱や指差呼称を行いながら進められていた。
- ・ 洗浄廃液の漏えい防止対策として、仮設移送ホースが二重化されていた。また、仮設移送ホース接続部に受けパンが設置され、受けパンの中には漏えい検知器が設置されていた。(写真2)
- ・ 洗浄廃液の移送先であるドレンタンクにおいて、監視人が洗浄廃液の受入状況を確認していた。(写真3)
- ・ 当該作業は、東京電力社員立ち合いのもとで実施されていた。
- ・ 上記作業状況の他、建屋内を確認した範囲では、配管や設備からの漏えいや水たまり等の異常は認められなかった。

※ クロスフローフィルター：後段の吸着塔における放射性物質の吸着を阻害する物質を除去するために用いられているフィルターで、処理する水をフィルターに対して並行に流すことにより、除去する物質がフィルターに堆積する現象を抑制しながらろ過を行うフィルターのこと。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
クロスフローフィルターの設置状況  
※被ばくを低減するために遮蔽シートで覆われている。



(写真1-2)  
クロスフローフィルターへの送液状況  
※硝酸をポンプで送液している。



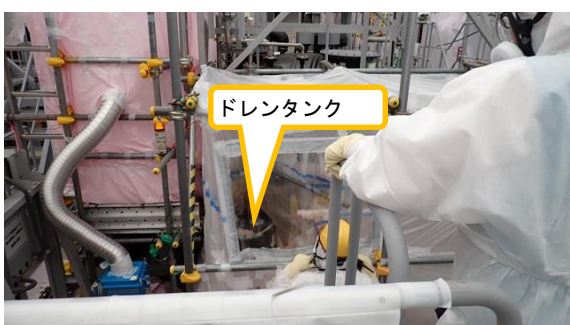
(写真1-3)  
写真1-2の拡大



(写真2-1)  
仮設移送ホースの敷設状況



(写真2-2)  
仮設移送ホース接続部の状況



(写真3)  
ドレンタンクの監視状況

##### 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。